



美山中学校だより



“例年通り”の喜びを感じながら、がんばっています

5月以降の雨不足で、田畑を潤す梅雨入りにほっとされている方もおられるのではないのでしょうか。ただ、昨今の気象状況から、災害につながる大雨がないことを願うとともに、備えの必要性を感じています。皆様には、ご健勝のことと存じます。日頃は、本校の教育活動に、格別のご理解とご支援をいただき誠にありがとうございます。

さて、5月にもお知らせしておりましたが、本年度は3年ぶりに当初予定の通り5月に修学旅行を実施することができました。これに合わせて1・2年生の校外学習についても実施致しました。それぞれの学年で事前学習を行い、当日も子どもたちが主体性を持って行動して、校内ではできない体験や学びで当初の目的を達成することができました。

また、本年度は各種の大会も開催され、6月4日(土)には3年ぶりの開催となった、南丹・船井陸上大会に全校で参加しました。種目数の関係で、全員が出場することはできません



でしたが、練習には全員が協力して取り組み、体力向上につながるトレーニングと自らの身体への気づきを得ることができました。これを機に6月18日(土)に開催される口丹陸上大会に向けて連日練習する生徒もあり、前向きにチャレンジする姿勢が今後の全校の志気につながっていくものと期待しています。



野瀬さん作 しおり表紙

修学旅行・校外学習の様子

1年生 芦生フィールドワーク



2年生 京都市内班別研修



3年生 修学旅行



(広島 → 香川 → 大阪)

修学旅行を終えての作文より（一部抜粋）

「宝物が増えた！」 3年 平川 なな海

…広島で一番記憶に残っているのは、広島平和記念資料館だ。被爆された方の話を聞いたとき「ああ、本当にあったことなんだ」と改めて感じた。当時の写真や原子爆弾によって被害を受けたもの、使われていたものなど様々なものを見て、戦争について考えさせられた。原子爆弾によって変わってしまった広島市を写真で見るとどれだけ被害が出たのかがよくわかった。今の生活がどれだけ幸せなのかわかった。資料館には当時の写真だけではなく原子爆弾が作られていく過程や終戦を迎え復興していく広島の様々を見ることができた。「こんなに小さいものであんなに被害が出るんだ。」「こんなに被害が出ていて、苦しんだ人がたくさんいるのに、今も核兵器が作られているんだ。」と思った。ひどい被害が出て今もきれいに整備され、一目では原子爆弾が落ちたとは分かりにくいけれど、今の状態になるまでたくさんの方が希望を捨てず、後世に伝えていこうと努力されたのだと感じた。街中、いろいろなところに像があったり、原子爆弾についての説明をする看板などがあったりした。原子爆弾が落ちた場所にも看板があった。その場所を通った時に、今、原子爆弾が落ちてきたらと考えた。私ならきっと逃げることをあきらめてしまうだろうし、近くにいればどんな状況になっても助からないだろう。防ぎようのないことから必死に逃げ、助かった人がいたことは本当にすごいなと感じた。自分の住む国で今、戦争が起こっていないくてよかったなと思うが、今日まで平和に生活できるように守っ



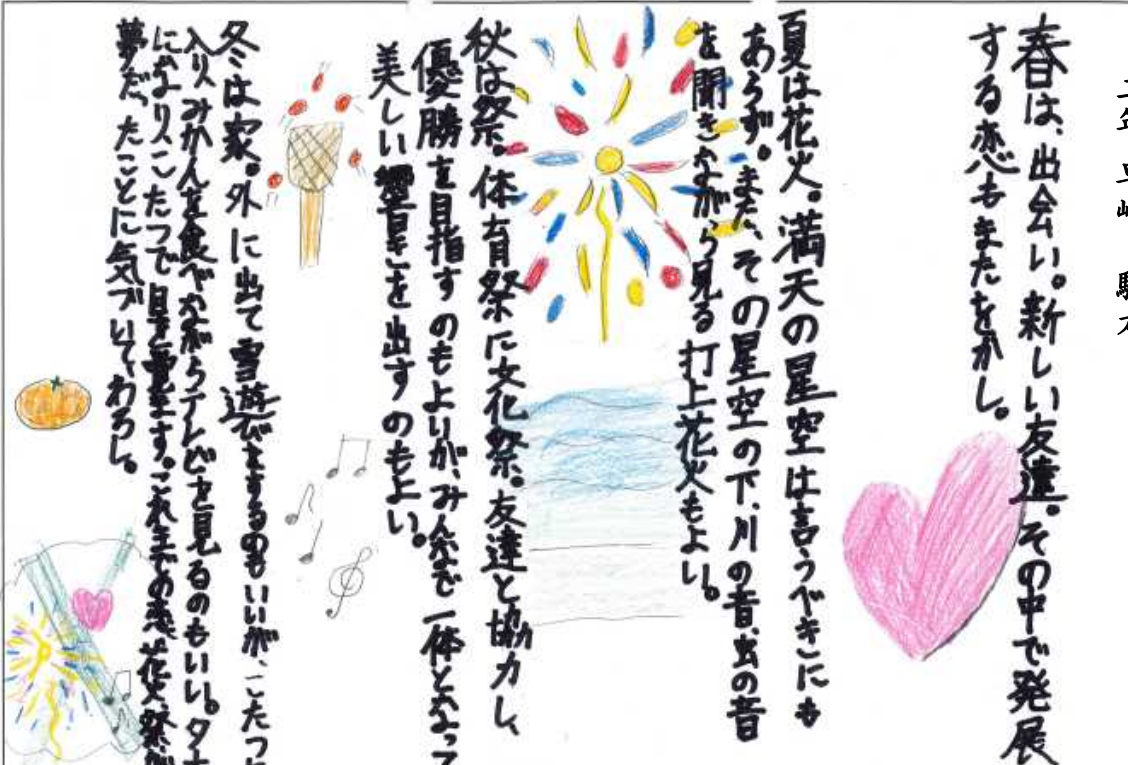
てくださる人がたくさんいるんだなと感じた。今、世界で戦争が起きているが悲劇が繰り返されてしまうんだなと思った。戦争についてここまで深く学べたのは初めてだったので、すごく良い学びができたし戦争に対して他人事じゃないんだと思った。…

春は、出会い。新しい友達。その中で発展する恋もまたをかし。

夏は花火。満天の星空は言うやきにもあらず。また、その星空の下、川の音、虫の音を聞きながら見る打上花火もよい。

秋は祭。体育祭に文化祭。友達と協力し、優勝を目指すのもよいが、みなを一体となって美しい躍りを出すのもよい。

冬は家。外に出て雪遊びをするのもいいが、こたつに入り、みかんを食や、お茶を飲むのもいい。夕方にふりそくたつで目を覚ます。これからの恋は、祭が幕だったことに気づいて、わろい。



二年 早崎 駿太

二年生国語科、古典で「枕草子」を学習しました。それに倣い、現代版で創作したものです。それぞれの感性で書いています。職員室前に掲示していますので、よろしければご覧ください。